

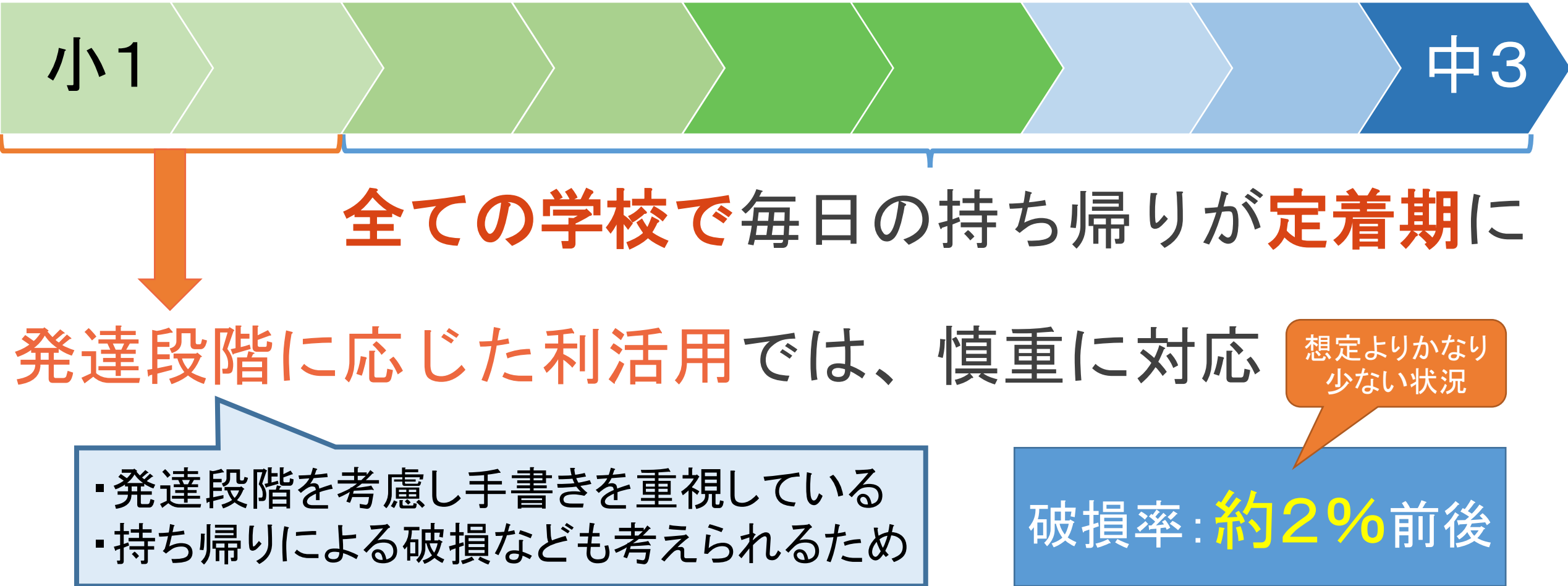
令和6年度
名寄市教育改善プロジェクト委員会

教育指導の充実に関する研究グループ

令和7年1月21日
発表者 風連中学校 吉野 法行

教育指導の充実に関する研究グループ

1 ICT端末 (Chromebook) の持ち帰りについて



教育指導の充実に関する研究グループ

1 ICT端末 (Chromebook) の持ち帰りについて

成果と課題

成 果

- ・ 定着期に入り、毎日の学習に生かす姿が見られた
- ・ AIドリルを家庭学習として活用
- ・ アンケートや課題の提出などもICT端末で行うことが定着した
- ・ 各校の好事例交流により、活用の幅が広がった
- ・ 想定よりも破損数が少ない状態で推移している

課 題

- ・ より効果的な個別最適化を目指す活用方法
- ・ 低学年でも端末持ち帰りで活用できるか模索していく
- ・ 充電忘れ&端末忘れ対応貸し出し用端末の台数
- ・ 目的外使用が、散見されるように



ルールメイキングやデジタルシティズンシップについて児童生徒、家庭や教員側の理解を深めていく

教育指導の充実に関する研究グループ

2 AIドリルの積極的な活用に向けて

6月

- AIドリル正式導入

8月

- 第1回AIドリル活用アンケート

12月

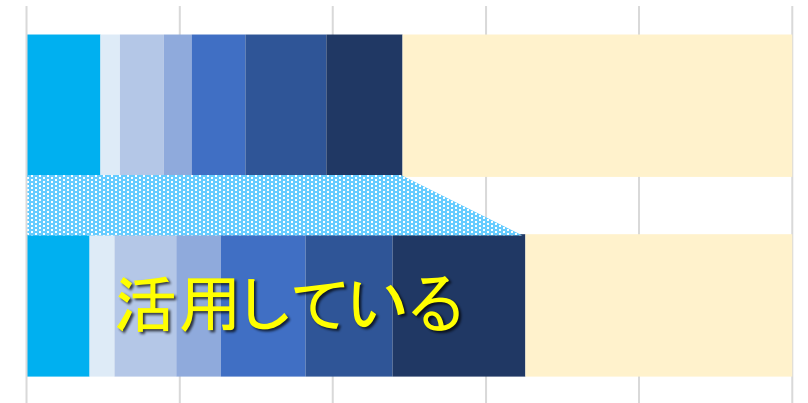
- 第2回AIドリル活用アンケート

家庭

第1回

第2回

0% 20% 40% 60% 80% 100%



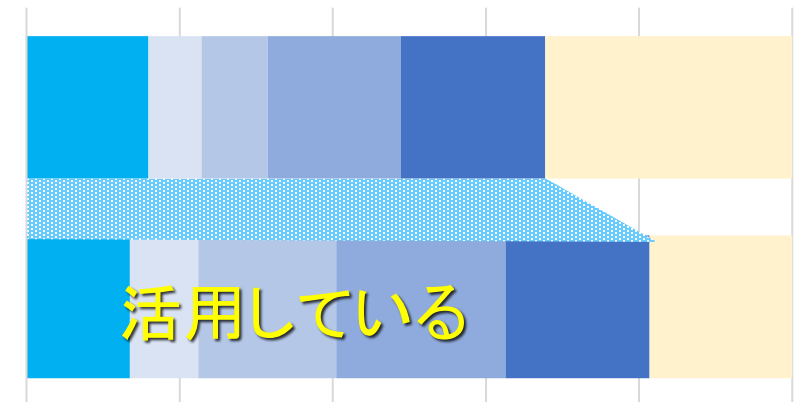
■ 毎日 ■ 6日 ■ 5日 ■ 4日 ■ 3日 ■ 2日 ■ 1日 ■ 活用できていない

0% 20% 40% 60% 80% 100%

学校

第1回

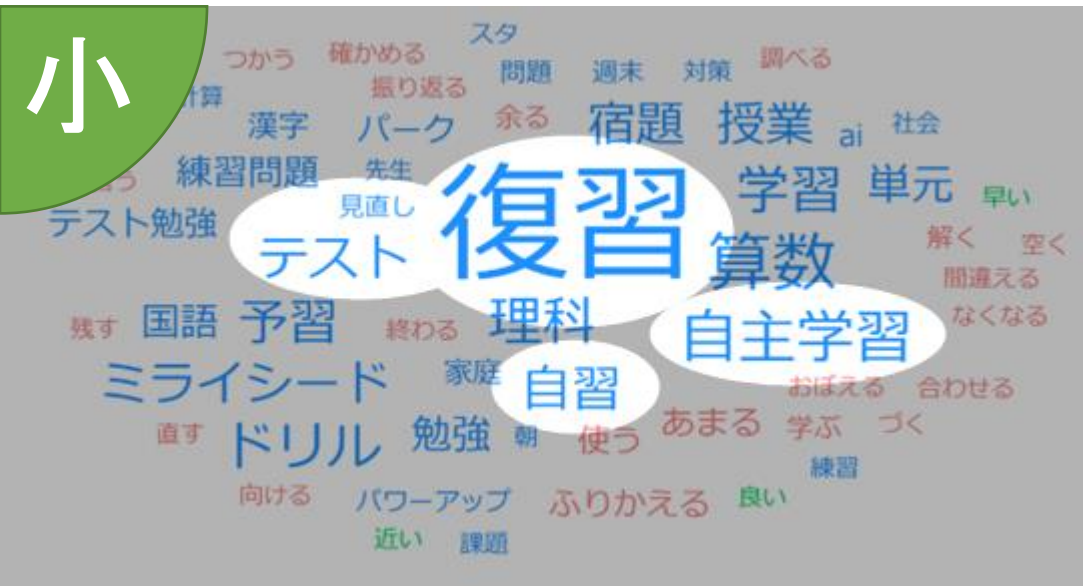
第2回



■ 毎日 ■ 4日 ■ 3日 ■ 2日 ■ 1日 ■ 活用できていない

教育指導の充実に関する研究グループ

2 AIドリルの積極的な活用に向けて



成果

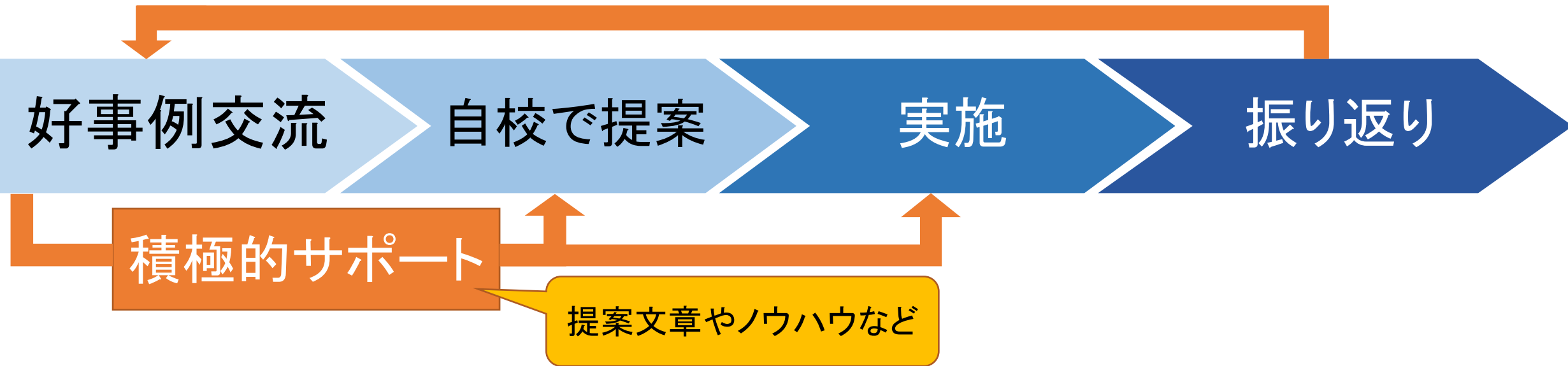
- ・児童生徒の**9割以上**が、AIドリルに肯定的
- ・自主学習やテスト勉強に役立てるなど**主体的な取組が増加**
- ・自宅でのChromebookの**学習利用が充実**

課題

- ・学級担任や教科担任によって**活用実態に差**が見られる
- ・AIドリルの活用の幅を広げるには、ペンなどの周辺機器の整備が必要

教育指導の充実に関する研究グループ

3 ICT活用による校務等の効率化について



- ・ 好事例の波及させる仕組みづくりができた
- ・ 提案文書やフォーマット、ノウハウを積極的に共有することで省力化を図ることができた
- ・ 各学校で好事例を自校に合う形で実践できた
- ・ 名寄市全体としてフォーマットや提案文書の共通化

教育指導の充実に関する研究グループ

4 多様な学びの場の構築・保障に向けて

Meetによる
授業配信

音声だけではなく
視覚でも指示

ロイロノート
を
カレンダーで
整理

指導事項の共有
スプレッドシート

AIDリルの活用

キーボードを
筆記用具
代わりに

ロイロノート
による学びの
蓄積化

課題への取り組
み方の共通化

教育指導の充実に関する研究グループ

5 成果と課題（次年度に向けて）

成果と課題

成 果

- ・ グループ会議自体を**非同期型会議化**
→ 事前に読み込みが深くなる
→ 提案及び会議の時間の短縮化
- ・ **AIドリル活用の定着化**
- ・ **ICTによる校務効率化を名寄市全学校で進めることができた**
→ 提案文書やフォーマット、ノウハウの共有化
- ・ ICTを活用した不登校支援やUDな授業の取組に関する情報の共有化

課 題

- ・ 低学年でのChromebook持ち帰りに関しては、**発達段階を考慮**することが不可欠
- ・ AIドリルの活用実態の差
→ 活用に向けての研修など
- ・ AIドリル活用に向けて周辺機器等の整備
- ・ **名寄市全体でフォーマットの共有化やノウハウの共有化を図る**
- ・ Chromebookの目的外使用や充電問題、端末忘れなどの対応など
→ **ルールメイキングやデジタルシティズンシップ**についての理解